



長野県観光部プレスリリース 平成 24 年 (2012 年) 12 月 28 日

中央自動車道早期復旧及び通行料金軽減措置等に関し、 中日本高速道路株式会社、国土交通省、観光庁等に要請

平成 24 年 12 月 2 日に発生した中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故に伴う中央自動車道の早期復旧及び通行料金の軽減措置について、中日本高速道路株式会社、国土交通省等に対して要請をします。

1 期 日

平成 24 年 12 月 28 日 (金)

2 要請活動について

(1) 中日本高速道路株式会社

ア 本社

要請先：こむろとしじ 小室俊二 取締役常務執行役員

要請者：副知事 加藤さゆり

イ 八王子支社

要請先：きわめんよしひさ 木和面芳久 八王子支社総務部長

要請者：観光部長 野池明登

(2) 国土交通省

ア 要請先：まえかわひでかず 前川秀和 道路局長

イ 要請者：副知事 加藤さゆり

(3) 観光庁

ア 要請先：てらだよしみち 寺田吉道 観光産業課長

イ 要請者：観光部長 野池明登

(4) 長野県選出国會議員

要請者：副知事 加藤さゆり

3 要請内容

別添要請書のとおり

要請活動の状況に関するお問い合わせは、観光部観光振興課へお願いします。

危機管理部危機管理防災課
(課長)池田秀幸 (担当)松沢正雄
電話:026-235-7184(直通)
FAX:026-233-4332
E-mail:bosai@pref.nagano.lg.jp

商工労働部産業政策課
(課長)石原秀樹 (担当)米沢一馬
電話:026-235-7191(直通)
FAX:026-235-7496
E-mail:sansei@pref.nagano.lg.jp

観光部観光振興課
(課長)秋山優一 (担当)新井隆司
電話:026-235-7254(直通)
FAX:026-235-7253
E-mail:kankoshin@pref.nagano.lg.jp

建設部道路管理課
(課長)安藤嘉夫(担当)下里巖
電話:026-235-7303(直通)
FAX:026-235-7369
E-mail:michikanri@pref.nagano.lg.jp

中日本高速道路株式会社

代表取締役社長CEO 金子剛一様

中央自動車道早期全面復旧等に関する
要 請 書

平成 24 年 12 月 28 日

長 野 県

知 事 阿 部 守 一

社団法人信州・長野県観光協会

理事長 野 原 莞 爾

長野県索道事業者協議会

会 長 駒 谷 嘉 宏

長野県旅館ホテル組合会

会 長 久 保 田 茂 登

公益社団法人長野県バス協会

会 長 藤 澤 秀 敬

社団法人長野県トラック協会

会 長 宮 崎 一 治

日頃から、長野県の発展に多大なご尽力とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

特に、貴社が管理運営する中央自動車道は、長野県を經由して首都圏と中京圏を結ぶ大動脈であり、本県の産業、観光をはじめとした県内の地域振興に多大な効果をもたらしております。

本年 12 月 2 日に発生した笹子トンネル上り線の天井板落下事故に伴い、本県においても、物流や高速バスの時間ロス、コストの増加や、中央道沿線を中心とした宿泊施設やスキー場への入込減など影響が出ております。

また、先日発表された民間調査機関の「トンネル事故の影響に関するアンケート調査結果」によると、年末年始に、長野県への訪問を予定・検討していた人の 16.8%、特に東京、神奈川、千葉の三都県在住者の 30.6%が「長野県への訪問をとりやめる」と回答し、長野県内の温泉を旅行目的としている人の 20%が同様に「長野県への旅行・訪問をやめる」との結果が出ているほか、「点検改修があってもトンネル通過に対する不安は消えない」との回答も多く、今後の風評被害も懸念されます。

12 月 29 日には、下り線を用いた対面通行での開通が予定されておりますが、本線及び迂回路での渋滞発生やトンネル通行の不安により、引き続き、物流や観光面への影響が予想されますので、影響を最小限に抑えるため、下記の事項について早急な対応を強く要請します。

記

- 1 12 月 29 日には、下り線を用いた対面通行での開通が予定されておりますが、このことを首都圏及び中京圏で積極的に広報すること。
- 2 観光への影響を最小限に抑えるため、全面復旧・開通までの間、首都圏と長野県を結ぶ区間について、例えば土日・祝日上限 1,000 円など通行料金の大幅な軽減措置を早急に実施すること。
- 3 安全かつ円滑な交通を確保するため、十分な防護措置及び安全確認を行った上で、早期に上り線も含めた全面復旧・開通を図るとともに、復旧時期を明示すること。
- 4 笹子トンネルと同様な工事手法によるトンネルについて、安全点検の実施結果に基づく万全な防護措置の実施及びトンネル通行への不安払拭のための広報を強化すること。

国土交通大臣

太 田 昭 宏 様

中央自動車道早期全面復旧等に関する
要 望 書

平成 24 年 12 月 28 日

長 野 県

知 事 阿 部 守 一

社団法人信州・長野県観光協会

理事長 野 原 莞 爾

長野県索道事業者協議会

会 長 駒 谷 嘉 宏

長野県旅館ホテル組合会

会 長 久 保 田 茂 登

社団法人長野県バス協会

会 長 藤 澤 秀 敬

社団法人長野県トラック協会

会 長 宮 崎 一 治

日頃から、長野県の発展に多大なご尽力とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

中日本高速道路株式会社が管理運営する中央自動車道は、長野県を經由して首都圏と中京圏を結ぶ大動脈であり、本県の産業、観光をはじめとした県内の地域振興に多大な効果をもたらしております。

本年 12 月 2 日に発生した笹子トンネル上り線の天井板落下事故に伴い、本県においても、物流や高速バスの時間ロス、コストの増加や、中央道沿線を中心とした宿泊施設やスキー場への入込減など影響が出ております。

また、先日発表された民間調査機関の「トンネル事故の影響に関するアンケート調査結果」によると、年末年始に、長野県への訪問を予定・検討していた人の 16.8%、特に東京、神奈川、千葉の三都県在住者の 30.6%が「長野県への訪問をとりやめる」と回答し、長野県内の温泉を旅行目的としている人の 20%が同様に「長野県への旅行・訪問をやめる」との結果が出ているほか、「点検改修があってもトンネル通過に対する不安は消えない」との回答も多く、今後の風評被害も懸念されます。

12 月 29 日には、下り線を用いた対面通行での開通が予定されておりますが、本線及び迂回路での渋滞発生やトンネル通行の不安により、引き続き、物流や観光面への影響が予想されますので、影響を最小限に抑えるため、中日本高速道路株式会社に対し、下記の事項について早急な対応がなされるよう、強く御指導いただきますよう要望します。

記

- 1 安全かつ円滑な交通を確保するため、十分な防護措置及び安全確認を行った上で、早期に上り線も含めた全面復旧・開通を図るとともに、復旧時期を明示すること。
- 2 笹子トンネルと同様な工事手法によるトンネルについて、安全点検の実施結果に基づく万全な防護措置の実施及びトンネル通行への不安払拭のための広報を強化すること。
- 3 12 月 29 日には、下り線を用いた対面通行での開通が予定されておりますが、このことを首都圏及び中京圏で積極的に広報すること。
- 4 観光への影響を最小限に抑えるため、全面復旧・開通までの間、首都圏と長野県を結ぶ区間について、例えば土日・祝日上限 1,000 円など通行料金の大幅な軽減措置を早急に実施すること。